

第7章 関連文化財群

関連文化財群とは、地域の多種多様な文化財を、ストーリーに沿って一定のまとまりとして捉えたものです。この設定により、未指定文化財についても、法・条例などで既に保護が推進されている指定等文化財と共にまとまりを持って扱うことができ、ストーリーの構成要素としての価値づけ・措置が可能となります。

本計画においては、富士宮市の歴史文化を特徴づけ、その魅力をわかりやすく伝えるストーリーであるとともに、

- ①市民などが共感でき、歴史文化を活かしたまちづくり活動などの促進につながるもの
- ②市外からの来訪者にアピールでき、市内観光などのための回遊性の向上につながるもの
- ③核となる関連施設や歴史文化に関わるイベントなども含めて、多様な取組への展開を見据えていること

の3点を念頭に、本計画期間においては第3章に掲げる歴史文化の特性を踏まえ、2つの関連文化財群を設定します。

歴史文化の特性		関連文化財群
1 富士山と生きる歴史文化 (1) 富士山に祈る	⇒	関連文化財群 1 修験集落「村山」
1 富士山と生きる歴史文化 (2) 富士山の自然と生きる	⇒	関連文化財群 2 富士山の清流が織り成した近代産業

1 関連文化財群 1 修験集落「村山」

【概要】

古より信仰の対象として畏敬された富士山。平安時代後期、噴火が収まった富士山で修業することで特別な力を得ようとした修験者は、興法寺（現村山浅間神社・大日堂、以下同）を活動拠点と定め、室町時代後期には富士登山者（道者）を山頂へいざなうようになりました。江戸時代を迎えると、村山に定住した修験者によって、興法寺がある集落「村山」は修験者が多く住まう特異な修験集落となります。

【ストーリー】

平安時代以前、富士山は噴火を繰り返す恐ろしい山でしたが、平安時代後期に噴火が収まると、富士山の特別な力（験力）を得ようと修行する修験者が現れました。室町時代後期に入ると、興法寺は修験者の活動拠点となりました。そして富士登山が盛んになると、修験者は登山道や山中の諸堂の管理を担い、道者を山頂へといざなうようになりました。その中で東見付から西見付の参道を中心とする範囲は、開山期間中不浄の立ち入りなどを禁止される特別な空間になりました。さらに江戸時代に修験者が村山へ定住すると、興法寺がある集落「村山」は、集落の住民の半分以上が興法寺の関係者が住む特異な修験集落となりました。

明治時代初期の神仏分離令・修験禁止令の発布により興法寺は村山浅間神社・大日堂に分離し、修験者の中には村山を離れていきました。しかし村山は明治時代以降大きな開発が行われていないことから、修験集落の痕跡が多く残されています。

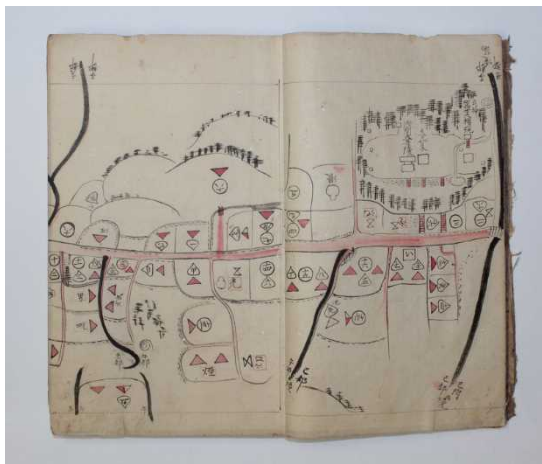


写真 7-1 村山浅間神社関係資料



写真 7-2 開山祭



写真 7-3 聖護院雄仁親王碑伝木



写真 7-4 左：宝篋印塔（宝暦2年）右：地藏菩薩

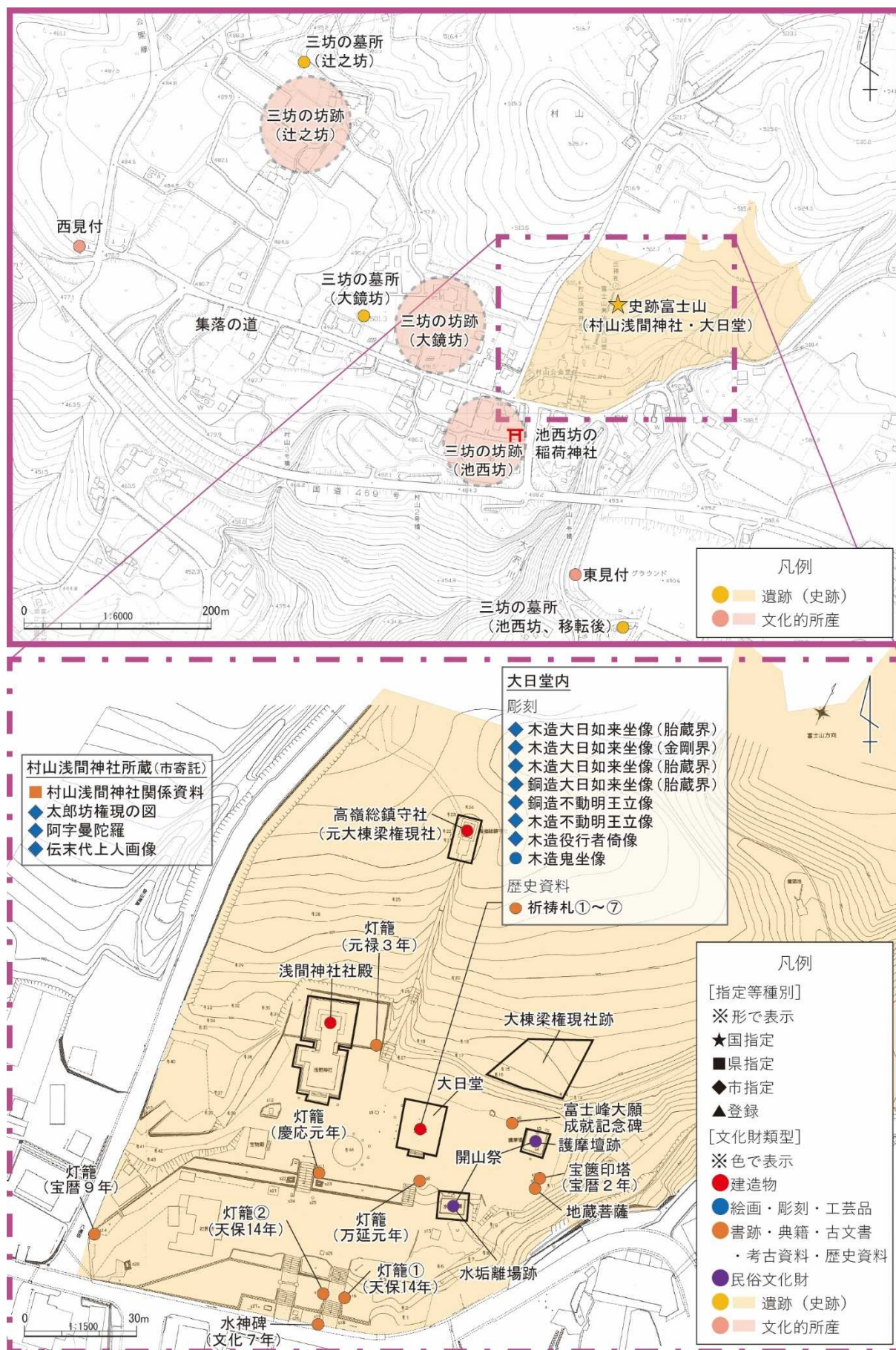


図 7-1 関連文化財群 1 修験集落「村山」

【構成する文化財】

No.	種別		指定等	文化財の名称	所在地	備考
1	有形	建造物		浅間神社社殿	村山	神仏分離によって境内富士浅間七社を相殿として造られた社。
2	〃	〃		大日堂	村山	興法寺の中心的な建造物。江戸時代末期建造か。
3	〃	〃		高嶺総鎮守社 (元大棟梁権現社)	村山	大棟梁権現社を明治初年に境内地高台に遷した社。
4	〃	美／絵画	国	絹本着色富士曼荼羅図	静岡市 (寄託)	16世紀の富士参詣曼荼羅。
5	〃	美／彫刻	市	木造大日如来坐像 (胎蔵界)	村山	正嘉3年(1259)造立の木像。
6	〃	〃	市	木造大日如来坐像 (金剛界)	村山	文明10年(1478)造立の木像。
7	〃	〃	市	木造大日如来坐像 (胎蔵界)	村山	16世紀頃造立の木像。
8	〃	〃	市	銅造大日如来坐像 (胎蔵界)	村山	中世後期ないし近世に遡る銅像。
9	〃	〃	市	銅造不動明王立像	村山	応永24年(1417)造立の銅像。
10	〃	〃	市	木造不動明王立像	村山	18世紀頃の造立の木像。
11	〃	〃	市	木造役行者倚像	村山	慶長13年(1608)造立の木像。
12	〃	美／ 工芸品	市	太郎坊権現の図	長貫 (寄託)	富士山に住む太郎坊という天狗を描いたとされる掛軸。
13	〃	〃	市	阿字曼陀羅	長貫 (寄託)	大日如来を示す阿字が書かれた掛軸。
14	〃	〃	市	伝末代上人画像	長貫 (寄託)	興法寺の開祖末代を描いたと伝わる掛軸。
15	〃	美／ 考古資料		村山浅間神社遺跡 出土遺物	長貫	村山浅間神社遺跡の発掘調査で出土した考古遺物。
16	〃	美／ 歴史資料	県	村山浅間神社関係資料	長貫 (寄託)	村山浅間神社や修験者の子孫の家に伝来した資料群。
17	〃	〃		村山浅間神社近代資料	長貫 (寄託)	近代の村山浅間神社で作成された文書・図面・写真など。
18	〃	〃		聖護院雄仁親王碑伝木	村山	富士山峰入りの証に納めた碑。
19	〃	〃		祈祷札①	村山	池西坊栄寿の採燈護摩供の祈祷札。
20	〃	〃		祈祷札②	村山	別当三坊と一山衆徒による本尊秘密供の祈祷札。
21	〃	〃		祈祷札③	村山	別当三坊と衆徒による富士山護摩供の祈祷札。
22	〃	〃		祈祷札④	村山	修験者威光院による祈祷札。
23	〃	〃		祈祷札⑤	村山	浄蓮院による本尊秘密供の祈祷札。
24	〃	〃		祈祷札⑥	村山	富士山護摩供の祈祷札。
25	〃	〃		祈祷札⑦	村山	村山の威光院による祈祷札。
26	〃	〃		宝篋印塔(宝暦2年)	村山	池西坊の檀那、村山周辺の人々らが写経石を奉納したと伝わる。
27	〃	〃		富士峰大願成就記念碑	村山	村山の修験者大宝院秋山氏の屋敷跡より移築した石碑。
28	〃	〃		地藏菩薩	村山	遠州の檀那が奉納した地藏菩薩。

No.	種別		指定等	文化財の名称	所在地	備考
29	有形	美／ 歴史資料		灯籠（万延元年）	村山	池西坊の檀那が寄進した灯籠。
30	〃	〃		灯籠（元禄3年）	村山	村山の修験者泉如坊が寄進した灯籠。
31	〃	〃		灯籠（慶応元年）	村山	池西坊檀那の金龍講が寄進した灯籠。
32	〃	〃		灯籠（宝暦9年）	村山	修験者龍宝院・宝光院らが西国巡礼供養に建てた灯籠。
33	〃	〃		灯籠（天保14年）①	村山	神成・木伐山・栗倉などの金弊講が建てた灯籠。
34	〃	〃		灯籠（天保14年）②	村山	神成・木伐山・栗倉などの金弊講が建てた灯籠。
35	〃	〃		水神碑（文化7年）	村山	文化7年（1810）の年紀銘が入った水神碑。「富士山真面之図」には神社の前に水神碑が描かれている。
36	民俗	無形の 民俗		開山祭	村山	明治時代以降に行われるようになった富士山の開山の行事。現在は護摩焚きや水垢離が行われる。
37	記念物	遺跡（史跡）		史跡富士山（村山浅間神社・大日堂）	村山	水垢離場跡や護摩壇跡、末代上人を祀る大棟梁権現社跡など、修験道にかかわる遺跡。
38	〃	〃		墓所（三坊）	村山	村山三坊（大鏡坊・池西坊・辻之坊）の墓所。池西坊の墓地は昭和時代に集落東側の現在地へ移転した。
39	その他の 文化的所産			東見付・西見付	村山	集落の東西の入り口には集落に入る人を監視する見付があったという。
40	〃			三坊の坊跡	村山	池村山三坊の建物跡地。池西坊の推定位置にある稲荷神社が、地域で池西坊の稲荷神社と呼ばれている。

【課題・方針】

課題① 修験集落の痕跡として村山浅間神社境内の水垢離場・護摩壇・建物、集落内の墓所などがありますが、改変されたり地下に埋蔵されたりしているため、見ただけではわかりません。

⇒方針① かつての修験集落全体の範囲や様相、明治時代以降の変化について十分に調査の上、修験に関わる文化財を保存しつつ、修験や個々の文化財について理解できるような解説サインの設置や、地下遺構の活用につながる整備を行います。

課題② 市内外の人が、富士山信仰や修験、興法寺や集落に関わる歴史・文化財を知ったり触れたりする機会が限られています。

⇒方針② 富士宮市立郷土資料館の出張展示や講座、ホームページなどを活用し、市内外への情報発信を強化します。また歴史・文化財の紹介パンフレットやリーフレットを作成し、見学イベントを開催するなど、歴史・文化財に触れる機会を創出します。

【措置】

方針	No.	措置の名称	措置の内容	推進体制						期間		
				市民	所有者	団体	学識者	行政 主管 (連携)		前期	後期	次期
①	22	国史跡「富士山」整備事業（継続）	保存管理計画・整備基本計画などに基づき、浅間大社・村山浅間神社・人穴富士講遺跡・山宮浅間神社の整備事業を進める。また、今後の整備を検討する。		◎		○	◎	文化 (世界)			
	25-1	国史跡「富士山」保存活用計画作成事業	国史跡「富士山」について、既存の保存管理計画を改定し、保存活用計画を作成する。	○	◎	◎	○	◎	文化 (世界)			
	55-1	修験の拠点である村山の地域を巡るための説明板などの整備	村山地区に残された見付跡や墓所などを巡ることができる案内の整備を検討する。		○		○	◎	文化 (世界)			
②	43-1	修験集落「村山」を巡る見学イベント開催	修験集落「村山」を構成する文化財を直接見て触れるきっかけを作り、市民の関心を高めるため、文化財を巡るツアーを開催する。	○	○	○	○	◎	文化			
	45-1	村山浅間神社の歴史を学ぶ講座を開催	市民が村山浅間神社について魅力を発信し、関心を高める機会を創出するため、村山浅間神社社務所や市役所などで、古文書解説講座や歴史講座を開催する。	○	○	○	○	◎	社教 文化			
	46-1	村山浅間神社社務所展	村山浅間神社社務所にて、「村山浅間神社遺跡出土遺物」「村山浅間神社関係資料」を使い、村山浅間神社の歴史を紹介する展示を行う。	○	○	○	○	◎	文化 (社教)			
	47	小・中学校の地域学習との連携（継続・強化）	「富士山学習」や「外国語ハンドブック」の活用など学校での学習と連携し、こどもや保護者が身近な歴史文化に触れる機会を増やす。	○	○	○	○	◎	文化 学教			

2 関連文化財群 2 富士山の清流が織り成した近代産業

【概要】

江戸時代以前から豊富な水で山裾の生活を支えてきた富士山。明治時代、その水は水力によって産業振興を目指す者たちの志に応え、製紙（近代洋紙）・電気事業を発展させました。さらに大正時代にはその水は本市を製糸のまちへ発展させ、昭和時代には全国三番目の官営養鱒場^{ようそんじょう}を本市へ誘致し、周辺地域の発展をもたらしました。現在も市内各所に関連する文化財があり、歴史に触れることができるとともに市民の生活を支えています。

【ストーリー】

江戸時代以前から富士宮市では富士山の綺麗で豊富な水で育つ海苔を採取し、用水路を開いて田畑を開き、水車を回して動力にし、そして地下水をくみ上げて醸造などに活かしてきました。

明治時代、日本が国を挙げて産業の近代化を目指す中、国内の豊富な水をもって日本の産業振興・国家発展を目指す者が現れます。彼らが目を付けたのは、富士山の豊富で安定した水が流れる潤井川でした。彼らは富士製紙会社を設立、富士市で水車動力の近代洋紙工場の運営に成功すると、本市へ工場を拡大しました。また同時期に芝川流域では、四日市製紙が操業を開始しました。

明治時代後期、製紙工場は動力源として電力に注目します。

明治43年（1910）には、富士水電株式会社（富士製紙株式会社の関連会社）によって、芝川の豊富な水と高低差を利用した猪之頭発電所が造られると、それを皮切りに昭和初期までに本市芝川流域に15か所、潤井川流域に3か所発電所が造られました。これらの発電所の多くは、改修されながら現在も使用されており、市民の生活や産業などを支えています。

また、明治時代後期に、山梨県をはじめ各地の製糸工場が進出し、大正時代には本市は製糸のまちへ発展しました。さらに昭和初期には、豊富な湧水がある猪之頭で全国3番目となる官営の養鱒場が開業し、静岡県の養鱒業の始まりとなるとともに、周辺には鱒料理や避暑を兼ねた保養・宿泊施設が進出するなど地域の発展をもたらしました。



写真 7-5 市所蔵古写真
（富士製紙第二工場）



写真 7-6 富士宮の酒造り（牧野酒造）



写真 7-7 白糸発電所



写真 7-8 水波之賣神碑（泉発電所跡）



写真 7-9 ペニー紡績踏切

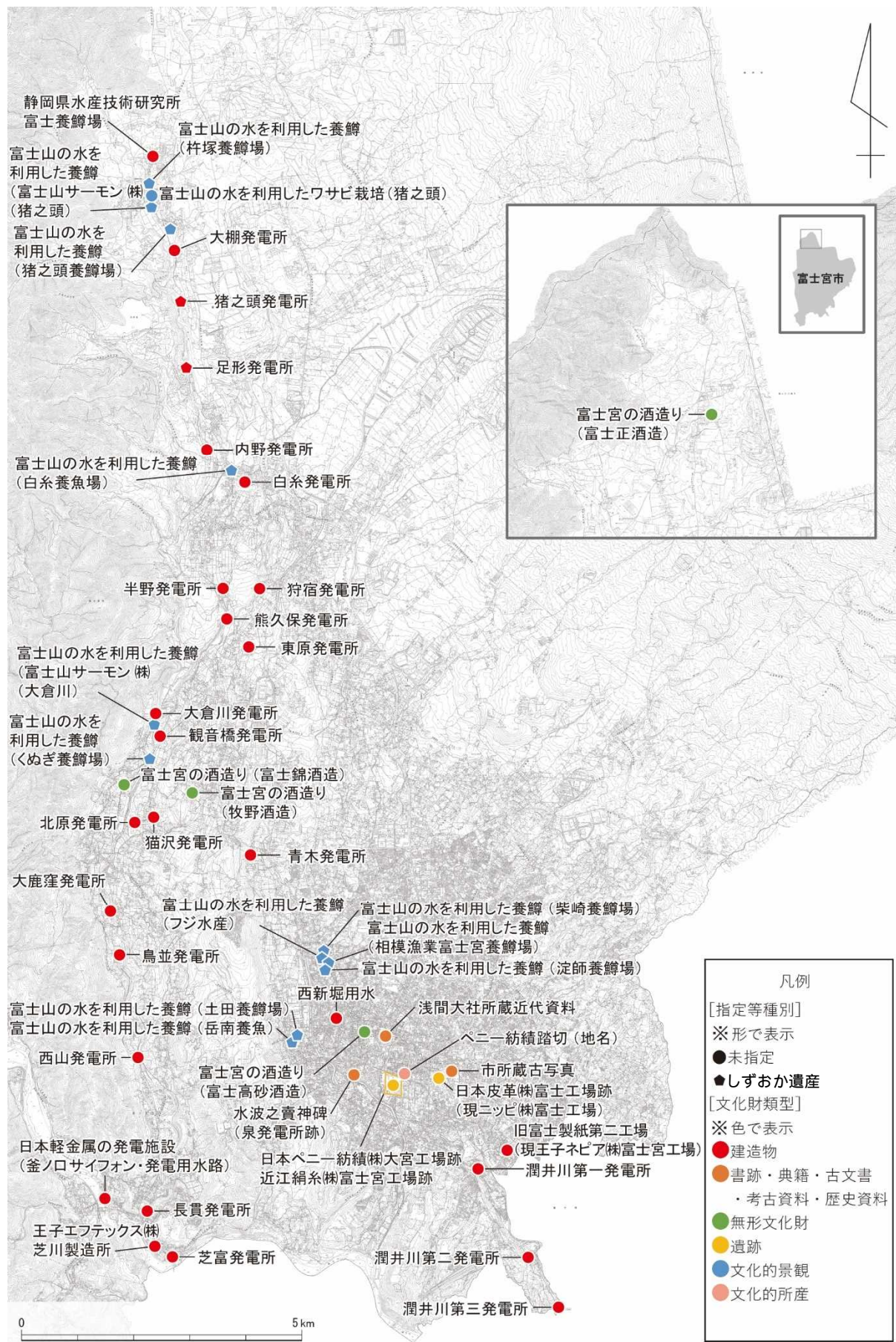


図 7-2 関連文化財群 2 富士山の清流が織り成した近代産業の分布図

【構成する文化財】

No.	種別		指定等	文化財の名称	所在地	備考
1	有形	建造物	静	東京発電(株)	猪之頭発電所	旧富士製紙(株)が明治43年(1910)に工場の動力源として建設。
2	〃	〃			青木発電所	旧富士製紙(株)が明治44年(1911)に工場の動力源として建設。
3	〃	〃			白糸発電所	旧富士製紙(株)が大正5年(1930)に工場の動力源として建設。
4	〃	〃	静		足形発電所	旧富士製紙(株)が大正7年(1932)に工場の動力源として建設。
5	〃	〃			内野発電所	旧富士製紙(株)が大正7年(1932)に工場の動力源として建設。
6	〃	〃			大倉川発電所	旧富士製紙(株)が大正8年(1933)に工場の動力源として建設。
7	〃	〃			狩宿発電所	旧富士製紙(株)が大正8年(1933)に工場の動力源として建設。
8	〃	〃			北原発電所	旧富士製紙(株)が大正11年(1922)に工場の動力源として建設。
9	〃	〃			観音橋発電所	旧富士製紙(株)が大正13年(1924)に工場の動力源として建設。
10	〃	〃			大鹿窪発電所	旧富士製紙(株)が昭和3年(1928)に工場の動力源として建設。
11	〃	〃			大棚発電所	旧関東配電(株)が昭和20年(1945)建設。
12	〃	〃			半野発電所	旧関東配電(株)が昭和22年(1947)に建設。
13	〃	〃			猫沢発電所	旧関東配電(株)が昭和26年(1951)に建設。
14	〃	〃		中部電力(株)	西山発電所	旧四日市製紙(株)が明治44年(1911)に大久保発電所として建設。その後建て替えられ、現在は西山発電所として稼働。
15	〃	〃			長貫発電所	旧静岡電力(株)が大正9年(1920)送電開始。
16	〃	〃			芝富発電所	旧静岡電力(株)が大正15年(1925)に建設。
17	〃	〃			鳥並発電所	旧静岡電力(株)が大正11年(1922)に建設。
18	〃	〃		王子エフテック(株)	潤井川第一発電所	旧本州製紙(株)が大正14年(1925)に建設。これにより工場の全動力が水力、蒸気エンジンから電気へと切り替わった。
19	〃	〃			潤井川第二発電所	
20	〃	〃			潤井川第三発電所	
21	〃	〃			熊久保発電所	旧本州製紙(株)が大正8年(1919)に建設。

No.	種別		指定等	文化財の名称	所在地	備考
22	〃	〃		東原発電所	上条	昭和30年(1955)送電開始。
23	〃	〃		旧四日市製紙芝川工場 (王子エフテックス (株)芝川製造所)	羽鮒	大きな水力を利用でき、パルプ用材の入手や運搬の便がよいことなどを理由に、明治31年(1898)、四日市製紙芝川工場として建設された製紙工場。
24	〃	〃		旧富士製紙第二工場(現王子ネピア(株)富士宮工場)	小泉	明治30年(1897)、富士製紙会社第二工場として操業を開始した製紙工場。
25	〃	〃		日本軽金属の発電施設(釜ノロサイフォン・発電用水路)	長貫	日本軽金属(株)の第一水力発電所(山梨県)から第二発電所(静岡市)へ水を運ぶ施設。
26	〃	〃		静岡県水産技術研究所 富士養鱒場	猪之頭	静岡県でのニジマス養殖のため開設された県営養鱒場。
27	〃	〃		西新堀用水	淀川町	製糸工場の動力として水車を利用するため拡張改修された用水路。
28	〃	美／ 古文書		高砂酒造所蔵資料	宝町	高砂酒造に伝来した酒造などに係る近世・近代資料。
29	〃	美／ 歴史資料		公文富士家文書	若の宮町	浅間大社の旧神職家に伝わる古文書。
30	〃	〃		浅間大社所蔵近代資料	宮町	明治初期から現代までの浅間大社の近現代資料。
31	有形	美／ 歴史資料		市所蔵古写真	弓沢町	市で保存している製紙工場・発電所などの古写真。
32	〃	〃		みずはのめがみひ 水波之賣神碑 (泉発電所跡)	泉町	市で最初の水力発電所である泉発電所跡の碑。
33	無形		静	富士宮の酒造り	宝町 下条 上柚野 根原	江戸時代から続く、四つの蔵による富士山の伏流水を利用した日本酒造り。
34	文化的景観		静	富士山の水を利用した養鱒	市内各所	猪之頭・淀師・大中里などにみられる富士山の水を利用した養鱒の風景。
35	〃			富士山の水を利用したワサビ栽培	猪之頭	大正時代中頃から富士山周辺の清らかな湧水を利用して行われているワサビ栽培の風景。
36	その他の 文化的所産			ペニー紡績踏切(地名)	大宮町	イオンモール富士宮の場所にあった日本ペニー紡績大宮工場が名前の由来。
37	〃			駿河半紙の生産(伝承)	潤井川流域 芝川流域 富士川流域 稲子川流域	富士山の豊富な水と三椏が自生していたことから芝川沿いを中心に駿河半紙が盛んに生産された。
38	〃			日本ペニー紡績(株)大宮工場跡 近江絹糸(株)富士宮工場跡	大宮町	イオンモール富士宮の場所にはペニー紡績大宮工場・近江絹糸富士宮工場があった。
39	〃			日本皮革(株)富士工場跡 (現ニッピ(株)富士工場)	弓沢町	戦時中、空襲を避けるため豊かな水がある富士宮へ日本皮革株式会社が来た。

凡例： しずおか遺産

【課題・方針】

課題① 『静岡県の近代化遺産』（静岡県、2000）で戦前の施設については、把握調査と一部の施設の詳細調査ができています。しかし、調査から20年以上が経過し、建替えによってなくなった施設もあり、現況調査が必要です。戦後に造られた施設については把握調査ができていません。

⇒方針① 『静岡県の近代化遺産』をもとに、把握されている文化財の現況の調査を行い、新たにリストとして整理します。併せて戦後に造られた施設については、把握調査を行います。

課題② 本市の水を利用した営み・産業について、これまで刊行された『富士宮市史』や各地域の『区誌』で整理されていますが、令和の市史編さん事業の中で新たに収集された資料もあります。これまでの調査内容の取りまとめと、調査が不足しているものの追加調査が必要です。

⇒方針② 本市の水を利用した営み・産業に関わる資料について、収集資料の整理を進めるとともに、価値などの解明に向けた調査を実施します。

課題③ 近代産業に関わる文化財は、市で十分に情報発信をしていないため、ストーリーや構成文化財について理解が進んでいません。

⇒方針③ 広報・パンフレットなどの媒体を用いた市内外への情報発信や、展示・講座でストーリーや文化財へ興味を持つ人の学習機会を創出することで、ストーリーや構成文化財について理解を進めます。

【措置】

方針	No.	措置の名称	措置の内容	推進体制					期間			
				市民	所有者	団体	学識者	行政	前期	後期	次期	
								主管 (連携)				
①	1-1	水力発電所・製紙工場の把握・詳細調査	市内の水力発電所・製紙工場について、『静岡県の近代化遺産』に基づき把握・詳細調査を進め、報告書を刊行する。	○	○	○	◎	◎	文化			
②	3-1	富士宮市の水の利用の歴史に関わる調査	富士宮市の水の利用の歴史に関わる資料を調査・収集・整理し、取りまとめを行い価値の周知や活動につなげる。	○	○	○	○	◎	文化			
③	51-1	「富士山の清流が織り成した近代産業」の情報発信	市の公式HPやSNSを利用して、「富士山の清流が織り成した近代産業」について市民へ発信する。	○	○	○	○	◎	文化 (広報)			
	52-1	文化財紹介パンフレットの作成	近代産業について調査・収集した内容に基づき、市民の関心を高めるため、気軽に手にすることができるパンフレットを作成する。		○	○	○	◎	文化 (環エネ)			
	53-1	文化財マップの作成	市民が「富士山の清流が織り成した近代産業」を構成する文化財を把握できるように、情報を集約したマップを作成する。		○			◎	文化			
	65	しずおか遺産事業の推進	しずおか遺産に認定された芝川沿いの発電施設の歴史や施設を活用した観光プランの検討や展示・講座・講演会など各種事業を推進する。		◎	◎	○	◎	文化 (観光) (環エネ)			